



にのへ 市議会だより

64号

令和4年
9月1日発行

6月定例会 — CONTENTS —

- 2 定例会の概要、主な議案の内容
- 4 質疑応答など
- 5 常任委員会での審議
- 6 常任委員会での審議、討論
- 7 審議結果、賛否の公表
- 8 一般質問
- 12 表彰、議員全員協議会
- 13 活動報告、ご意見箱、クイズ
- 14 政務活動費執行状況
- 15 議会改革、編集後記
- 16 声のひろば



今年の折爪岳登山は、仮装して思い出づくり

コロナ禍の影響で修学旅行などが中止となるなか、仮装して往復約20kmを歩きました！

6月16日 福岡高校3学年の生徒



YouTubeでネット中継配信中



二戸市議会 ネット中継



6月定例会

令和4年度補正予算など全7議案を可決

一般会計は、4億1027万円を追加



令和4年6月定例会は、6月7日から6月20日までの14日間にわたり開催されました。

今議会は、令和4年度補正予算など7件の議案が市長から提出されました。

本会議や3つの常任委員会で活発な議論が交わされ、審議の結果、議案7件が全て原案のとおり可決されました。

また、3月定例会からの継続審査となっていた陳情1件が不採択となったほか、請願1件が採択され、発議案1件が可決、1件が否決されました。

一般質問には7人の議員が登壇し、市政全般にわたって市長や教育長の見解を求めました。

主な議案の内容

専決

○専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例等の一部を改正する条例

令和4年3月31日、地方税法等の一部を改正する法律等が公布になり、令和4年4月1日から施行されたことから、専決処分により二戸市税条例等の一部を改正したものです。

○専決処分の承認を求めることについて 令和3年度二戸市一般会計補正予算（第17号）

地方交付税及び起債等の収入の確定に伴い、特に緊急を要するため、専決処分により予算を補正したものです。

◆補正額 1034万円

議決案件

○二戸市過疎地域持続的発展計画の変更について

過疎地域である市全域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力の更なる向上を図るため、本計画に事業を追加記載することにより、有利な財源による事業の実施が可能となり、持続可能で活力ある地域の実現に取り組むものです。

○市道路線の変更について

二戸市道路認定基準要綱第2条の規定に基づき、市道路線を変更しようとするものです。

◆路線名 中町下川原線
上野々線

財産

○財産（車両）の取得について

二戸市消防団の消防活動の用に供

補正予算

○令和4年度二戸市一般会計補正予算（第2号）

◆補正額 4億1027万円

【主な内容（歳出・増額分）】

・子育て世帯生活支援特別給付金（国給付事業） 3259万円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する子育て世帯を支援する観点から、子育て世帯に対する生活支援特別給付金を支給するもの。

・子育て世帯への臨時特別給付金（市給付事業） 8693万円

新型コロナウイルス感染症の影響による食費等の物価高騰等に対応するために

する車両を購入しようとするものです。

◆取得する資産

消防ポンプ自動車 1台

小型動力ポンプ付積載車 2台

◆取得価格 4466万円

◆契約の相手方 株式会社岩野商会

○令和4年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

◆補正額

人事異動に伴う人件費等の補正及び金田一診療所における乳がん、子宮がん検診の実施に係るものです。

◆補正額

診療施設勘定 △513万円

陳情

【3月定例会からの継続審査】

○二戸市似鳥字浅石1番地の建築物に係る課税更正についての陳情

◆陳情者 野方はる氏

◆要旨 私（野方はる）所有の建物

行われる「子育て世帯に対する生活支援特別給付金」の対象者の拡充（新規ひとり親世帯分）と、市独自の臨時特別給付金を支給するもの。

・新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化防止を目的として、4回目のワクチン接種を実施するもの。

7901万円

（二戸市役所の家屋課税（補充）台帳上の所在地二戸市似鳥字浅石1番地）が、令和元年12月9日付をもって課税更正の名目により、私（野方はる）の所有から抹消されたことについて、二戸市議会に対し、適正な調査を求めるものです。

請願

○令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願

◆請願者 新岩手農業協同組合

代表理事組合長

◆紹介議員 沼井賢壮

◆要旨 国からの令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直し内容は、地域で取り組む営農計画の再検討が必要となるとともに、地域特色を生かした営農の展開への影響なども懸念されるので、生産者が意欲をもって、将来にわたって安定的な営農・農地の維持が展望できるような制度とすることを国に対し求めるものです。

議員発議

○「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書

国に対し、これまで政府に長年にわたり協力してきた農家を交付金の対象から排除しないよう求めるものです。

○令和4年度のコメ政策に関する意見書

水田活用の直接支払交付金の見直しが示されているが、生産者が意欲をもって作付し、将来にわたって安定的な営農・農地の維持が展望できるように、現場の課題を十分に検証したうえで制度設計がなされるよう、次のことを要望するものです。

①見直しの運用にあたっては、丁寧な説明を行い、生産現場の実態や課題を十分にふまえて進めること。

②意欲をもって生産活動に取り組めるよう、新たな支援措置を講じること。

③多年生作物（牧草）の扱いについては、営農計画等を十分に検討する期間を設けること。

議案審議

《専決》二戸市税条例等の一部を改正する条例

第1条による改正

問 項目の改正について分かりやすく説明して欲しい。

答 第9条関係は、固定資産税の証明書交付の際に、DV被害者等の住所が知られる危険があるため、住所に代わる事項を記載し交付するもの。第28条関係は、給与所得者と公的年金受給者が支払先に提出する扶養親族等申告書に、配偶者と扶養親族の氏名の記載を追加するもの。

《専決》3年度一般会計補正予算(第17号)

ふるさと納税

問 令和3年度のふるさと納税額は。

答 歳入は、1億3826万4000円で、前年比は約140パーセント。

問 ふるさと納税の基金の活用について、支援メニューを増やしていくことは考えられるのか。

答 基金は、人づくり基金、福祉対策基金、浄法寺漆産業振興基金、教育振興基金、九戸城跡整備振興基金にそれぞれ積み立てている。使い道は、その中でその年度に活用できる事業に使っ

総務常任委員会

《専決》二戸市税条例等の一部を改正する条例

第1条による改正(第9条関係)

問 いわゆるDV被害者の現住所が特定されないよう配慮するものだが、本来の住所に代わる事項を記載するとはどのようなことか。

答 現住所に代わる事項を何にするかは、まだ決まっていない。国において検討中であり、法務局や司法書士、弁護士の仕事想定していると聞いている。

第1条による改正(第19条関係)

問 条例改正後には納税者の確定申告時における作業はあるのか。

答 納税者の記載事項が増えることはない。

《専決》3年度一般会計補正予算(第17号)

問 令和3年度における人づくりまちづくりに対してのふるさと納税額は。また、その基金の残高と、主に使用している事業は。

答 ふるさと納税額は5200万円である。また、令和3年度末の地域づくり人づくり基金の残高見込み額は、5億5600万円である。主な使途

ている。新しい事業ができた場合は、そちらに充当することもある。

二戸市過疎地域持続的発展計画の変更について

問 この計画の中に、買物の不便や移動手段の不便など、日々の不便を解決するものがあれば紹介いただきたい。

答 この計画は、記載する項目について、国で全部指定されており、それに沿って二戸市総合計画の中からこの計画に落とし込んで作成しているものである。そのため、具体的なことが記載されているものではない。

4年度一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 4回目接種の集団接種会場はどこを予定しているのか。

答 集団接種会場は、現在二戸医師会と相談、協議を進めており、カシオペアメッセなやーとを予定している。

問 接種券の交付の中に、電話代の心配が生じないような説明があるか。

答 3回目接種からは、フリーダイヤルをご利用いただけるようになってくる。また、接種券送付の際には、併せて周知を行っている。

は、市全体の人づくりやまちづくりに関連した様々な事業に繰り入れており、一例として挙げると公共交通関係である。

4年度一般会計補正予算(第2号)

二戸市名誉市民追悼事業

問 予算の積算根拠は。また、実行委員会の結成、開催時期は。実行委員会の実費負担はあるのか。

答 実行委員会は、議決を得た後、出来る限り早く結成したいと考えている。また、実行委員会構成団体からの負担は想定していない。予算の積算根拠は、二戸市民文化会館使用料がおよそ20万円、祭壇設置費がおよそ160万円、その他に映像制作費や印刷製本費等を想定している。



二戸市名誉市民の瀬戸内寂聴氏

農業委員会費

問 タブレット端末の購入について、台数、使用目的、購入の検討期間は。また、使用にあたり規約や制限等はあるか。

答 台数は25台。使用目的は、農地状況調査、現地調査などのために、農地利用最適化推進委員等が使用するもの。購入の検討は、令和3年12月頃から検討してきたもの。規約や制限等は今後検討していく。

4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

子宮がん委託料

問 公益財団法人岩手県対がん協会に委託することになった経緯は。

答 現在の金田一診療所では、産科医の医業ができるので、子宮がん検診を金田一診療所が行い、検体の検査等を岩手県対がん協会が行うこととなったもの。



文教福祉常任委員会

《専決》3年度一般会計補正予算(第17号)

問 社会福祉総務費の積立金は、ふるさと納税分を積み立てているとのことだが、使い道は。

答 使い道は、成年後見人制度利用支援事業委託料、外出支援サービス運営事業委託料、緊急通報システム、生活支援型ショートステイ事業などとなっている。金額が最も大きいものは敬老事業である。

問 教育費寄付金の使い道は。

答 教育費寄付金件数は1〜3月までは227件で497万3000円となっている。主な使い道は、図書に親しむ事業、学力向上事業、ふるさと探訪塾事業、高校の魅力化推進事業等である。

4年度一般会計補正予算(第2号)

問 新型コロナウイルスワクチン4回目接種の今後の見通しは。また、3回目までの接種率はどうか。

答 4回目接種は、7月以降で進めており、対象者は、①60歳以上、②18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する

ラジオ放送

定例会の一般質問は、カシオペアFM(周波数77.9MHz)で録音放送をしています。

放送日程は、二戸市議会またはカシオペアFMのウェブサイトでご確認ください。



会議録の公開

本会議の会議録は、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館、浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。平成18年度以降の会議録は二戸市議会ウェブサイトから閲覧・検索することもできます。



ことや重症化リスクが高い者となっている。接種対象は1万3000人程度を見込んでいる。市民の接種率は、60歳以上は87%、18歳以上59歳以下は59・2%、5〜11歳の小児について1回目接種済み38・4%となっている。

問 下斗米大宮神社の金剛力士像の修繕が行われるが、修繕により得られる効果は。

答 江戸時代に建立され約300年経っている金剛力士像であるが、老朽化が激しく、早く本来の力強い姿に戻したいという地域の意向があり、2分の1を補助し、残りを地域で負担して今回修繕するもの。地域にとって、喜ばしい、望ましい姿になると思う。



没後200年となる相馬大作ゆかりの下斗米大宮神社

審議結果

議案番号等		議案名等	審議結果
議案	1	専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
	2	専決処分の承認を求めることについて 令和3年度二戸市一般会計補正予算（第17号）	可決（全員賛成）
	3	二戸市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決（全員賛成）
	4	財産（車両）の取得について	可決（全員賛成）
	5	市道路線の変更について	可決（全員賛成）
	6	令和4年度二戸市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
	7	令和4年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
報告	1	二戸市ふるさと振興株式会社の経営状況について	報告
	2	二戸市一般会計繰越明許費の報告について	報告
	3	二戸市下水道事業特別会計繰越明許費の報告について	報告
	4	二戸市土地区画整理事業特別会計繰越明許費の報告について	報告
3月定例会からの継続審査		二戸市似鳥字浅石1番地の建築物に係る課税更正についての陳情	不採択（賛成少数）
請願	1	令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願	採択（賛成多数）
発議	1	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書	否決（賛成少数）
	2	令和4年度のコメ政策に関する意見書	可決（賛成多数）

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です。氏名の上の数字は議席番号

議案名	1 畠中 泰子	2 田口 一男	3 岩崎 敬郎	4 沼井 賢壮	5 戸来 守和	6 小田島 行伸	7 三浦 利章	8 新畑 鉄男	9 駒木 昇	10 高村 人司	11 出堀 満則	12 石輪 成人	13 米田 誠	14 菅原 恒雄	15 田中 勝二	16 國分 敏彦	17 内沢 真申	18 田代 博之
議案第1号 専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例の一部を改正する条例	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月定例会からの継続審査 二戸市似鳥字浅石1番地の建築物に係る課税更正についての陳情	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第1号 令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発議第2号 令和4年度のコメ政策に関する意見書	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長は採決には加わりません。
※ 「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対

議会のネット中継



インターネット（YouTube）で、二戸市議会の議論の様子を配信しています。

二戸市の「いま！」をタイムリーに感じたい方は生（ライブ）配信で、

ゆっくりと好きな時間に見たい視聴したい方は録画配信どうぞ。

議会のネット中継は
↓こちら↓



YouTubeの生配信や録画配信でも視聴できます。

チャンネル登録をお願いします！

産業建設常任委員会

《専決》3年度
一般会計補正予算（第17号）

市有林の伐採

問 場所、売上の使途は。

答 今回の場所は、浄法寺町馬洗場地区で、林齢65年の木の伐採を行った。売り上げは市有林造成基金に繰り入れ、森林の造成などに使う。



伐採中の浄法寺町馬洗場地区

4年度
一般会計補正予算（第2号）

農業委員に配布予定のタブレット

問 購入の目的や今後の運用は。

答 農地の利用状況や、利用の意向等の調査に使用するもの。この調査結果は、地域での「農業者、農地バンク、農協土地改良区、県の関係機関等」との話し合いの場で情報共有し、将来の目指す

討論

賛成

反対

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例の一部を改正する条例

反対

畠中 泰子 議員

二戸市の国保税は、協会けんぽの1・7倍の重い負担となっている。こうした高い国保税を国の地方税法の改正を受けて、そのまま市民に押しつけるのではなく、市としての裁量権を発揮するべきではないでしょうか。国が1984年以降、国庫負担を切り下げ続けてきたことで負担感の大きい国保税となっている。この際国に対して、国庫負担の引上げ、他の医療保険にはない均等割世帯割の廃止を、その制度改革を強く求めて本条例改正に反対する。

議案第2号 専決処分の承認を求めることについて 3年度一般会計補正予算（第17号）

賛成

畠中 泰子 議員

今回初めて過去最高の1億3826万4000円のふるさと納

発議第1号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書

賛成

畠中 泰子 議員

米価が暴落しているときに、なぜ水田活用直接支払交付金まで削減するのかと農家の怒りが広がっている。地域の生産力を応援するのではなく、水を差すような政策に、私は大いに抗議をするものである。今必要なのは、食料自給率の引上げであり、農業者が安心して持続的に農業に従事できる価格保証や所得補償などの充実に、国が努力をすることではないか。

私は、今回の見直しは撤回することを求めている立場から、本意見書に賛成する。

税による歳入があり、地域づくり人づくり基金については、令和3年度末において5億5600万円の基金残高を見込むとのこと。これまでもふるさと納税を、市の各種事業の貴重な財源として活用してきたものと思うが、二戸市は、管内の町村に比べて子育て施策でかなり立ち後れていると思うので、この際、この基金事業については、子育て施策の思い切った充実、拡充に使われていくことも強く期待をし、賛成する。

問 森林経営に係る意向調査の結果と森林所有者の抱えている問題点はどのようなものか。

答 市長 市内全域の調査完了には5年程度の期間を要すると見込んでいる。令和2・3年度の森林の筆数を基に算出した結果では、今後も森林所有者自らで経営管理を行っていくと答えたのは約45%となっており、約25%が経営管理を委託したいとの結果となっている。約30%は自分で管理するか委託するかを迷っている方や、売却してしまいたい、所有森林の場所が分からないといった意見等となっている。面積を基にした結果では約66%が今後も自ら経営管理をしていくとなっており、所有する面積が小さい所有者ほど森林経営の採算性が悪くなる

問 森林環境譲与税の活用方法はどのようなものか。

答 市長 県や森林組合管内市町村との協議の中で出されたのが、森林所有者からの要望が強いとされた既存の県森林整備事業の対象とならない下刈り作業への補助である。また、子供の生まれた世帯に対して、椀や皿、小鉢などのセットを贈り、木と触れ合い、木育を進めながら、普及啓発を進める出生祝漆器給付事業についても森林環境譲与税を活用して新たに実施している。



二戸中央コミュニティセンター「にこランス」



内沢 真申 議員

森林環境譲与税の活用方法は 出生祝漆器給付事業を 新たに実施

問 コミュニティセンター 市内3公民館コミュニティセンターへ移行の見通しは。

答 市長 住民にとって様々な活動に利用しやすいものになければならないと考えている。コミュニティセンターへ移行を進める。当初は直営方式による運営が必要かと思っている。社会教育委員会や公民館運営審議会などの地域の皆様方の意見を踏まえ、具体化を目指す。



7人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。本定例会では7人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。(名まえの前の数字は通告順)

①戸 来 守 和 議員
1. 二戸市の商業振興策について

②内 沢 真 申 議員
1. 森林・林業行政の方向性について
2. 二戸中央コミュニティセンターの利活用について

③高 村 人 司 議員
1. 福岡工業高校の再編計画について
2. 市内街路灯の修理等について

④米 田 誠 議員
1. 災害時要援護者支援制度について
2. エコスクール・プラス学校施設のZEB化の推進について
3. ゴミ処理対策について

⑤田 口 一 男 議員
1. 耐用年数後の公共施設について
2. コロナ禍等による学校給食について

⑥國 分 敏 彦 議員
1. 二戸市にPCR検査会場設置を
2. プレミアム付き商品券とPAY・PAYの結果について
3. 二戸市の森林経営計画について

⑦畠 中 泰 子 議員
1. 日本国憲法施行75年と政治姿勢
2. コロナ禍における物価高騰対策
3. 水田活用交付金見直しへの対策



戸来 守和 議員

二戸市の商業振興策

問 高齢化や担い手不足により事業継承が困難になっている事業者向けの補助金制度や、閉店した人気飲食店のレシビ継承を通じて起業したいといったチャレンジしてみたい方への補助金制度など、二戸の宝を活かしていく起業家向け特例制度を制定してはどうか。

答 市長 市内の飲食店、製造販売店には地域の皆様から長年愛されているメニューや商品がある。しかし、後継者不足や経営者の高齢化により事業継承が困難となるなど、閉店せざるを得ない現状もある。市内の幾つかの飲食店、製造販売店に事業やレシピなどを継承したいか意向を伺ったところ、家族も含めて事業継承を望んでおらず、自分たちの代で店を閉め

事業者や起業家向けの 特例制度を制定しては 各種支援制度をご案内し 適切な支援を継続していく

るといふ回答が多かった。事業継承の事例では、店の元従業員や常連客が事業を継承しているケースもあり、継承したいと考えている方の熱意によるところが大きいと考える。現在、創業に向けた市の支援策として、二戸市中小企業資金融資制度があり、最大2000万円までの融資と利子補給による支援を行っている。また、空き店舗を活用して事業を始めようとする方に対しては、改修費用等に対し、空き店舗活用促進事業費補助金により最大50万円の支援をしているところである。現在、既存事業者の事業転換、事業拡大に際しては、国の事業再構築補助金等があり、金田一温泉の老舗旅館に、グランピング施設の整備を行い、若い建築業者がショールームを兼ねたカフェを開業す



名店と呼ばれた店舗が閉店していく二戸駅東口地区でも、商工振興の具体案策定が急務



高村 人司 議員

県に出した要望書の内容は 工業学科2学級の維持を 強く要望

問 福岡工業高校再編について県教育委員会への対応は。

答 市長 5月13日に県教育委員会に対し、教育長と連名で工業科2学級の維持について要望を行った。入学生徒数が2学級を構成することに必要な生徒数を確保できている事実と、市民並びに関係者、二戸市が一丸となり取り組んだ成果を、県にしっかりと評価してもらい、再編計画の見直しにつなげるため、2学級維持を強く要望した。

問 教育委員会 二戸市教育委員会への対応は、市長が答弁したとおり。今後の県教委の動きに対しては適切に対応していく。

答 市長 新たな支援は、生徒確保に向けての新たな支援は、今年度と同じく以下

の5つの取り組みにより、生徒確保を図る支援を展開していく。①広報にのへによる市内高校の特徴や特色などを紹介する高校特集の連載、②市内中学生全員に高校特集の別刷りの配布、③市内中学校3年生全員を対象とした工業高校キャンパスツアーの実施、④福岡工業高校PTAによる学校パンフレット作成への補助、⑤市内高校通学者への通学費の補助。

問 市内街路灯の修理費等

答 3月定例会で同様の質問を行ったが、その後の進捗状況は、街路灯の節電についての考え方はどのようなものか。

答 市長 新年度に入り、管理いただいている16の地元組織と今後の街路灯の所有、修理の意向



昼でも点灯している街路灯

について検討していただくよう依頼している。現在までに7組織から回答をいただいているところであり、今後全ての団体からの意向が出そろった後に、改めて制度の検討を行う。

答 産業振興部長 どのよう管理をしているのか、再度管理者から確認を行いながら、話し合いを進めていきたい。



米田 誠 議員

要援護者名簿の作成状況は

登載者は121組織463名

問 災害時要援護者支援制度について、要援護者台帳の名簿の作成状況を伺う。

答 市長 要援護者名簿は、災害発生時ににおける災害時要援護者への支援を適切かつ円滑に実施するためのものである。情報伝達体制や避難支援体制の整備を図り、地域の安心、安全を確保することを目的としている。名簿登録の対象は、高齢者、65歳以上の独り暮らし、寝たきり、高齢者のみの世帯、介護保険における要介護、要支援認定者、障害者、その他災害時において支援が必要と認められる者としている。民生委員、町内会組織等の協力を得て、本人の同意を得た上で名簿に登録することになっており、令和4年4月1日現在の要援護者名簿登載者は121組織463名と



防災訓練の様子

なっている。

エコスクール・プラス、学校施設のZEB化

推進に向けての考え方はどのようなものか。

答 市長 ZEB化の推進については、国のエネルギー政策でも重視されている。文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省が連携し、市町村等がエコスクールとして整備する学校を認定し、各省庁の補助事業の優先採択などが行われている。市の総合計画においてもSDGsを見据えた事業

展開を新しい視点の一つとして捉えている。市内の学校施設は、大規模なので、費用面も含め、計画的な新改築、改修を行わなければならない。エコスクール・プラスなど、様々な支援策を活用し、計画的に改修するよう検討していく。

ごみの処理対策

問 プラスチックゴミ削減の取り組みは

答 市長 本年4月から施行されたプラスチックに関わる資源循環の促進法に関する法律では、消費者や事業者、市町村に対し、それぞれの役割が示された。市町村の努力義務であるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集については、関係機関等と研究、検討していく必要があると認識している。



田口 一男 議員

耐用年数後の公共施設の対策は 財源の捻出が課題

問 個別施設計画において解体すべきと評価された施設の現状と進捗状況、解体時期の見通しは、解体撤去の検討に入っていない旧岡本小学校校舎の位置づけはどのようになっているのか。海上の湯については今後どのように対応していくのか。

答 市長 今年度は旧下斗米児童館と旧金田一中学校体育館の解体を当初予算に計上した。来年度以降は旧野々上小学校、旧校長住宅、旧舌崎小学校教員住宅、旧二戸市学校給食センターの解体を計画しており、旧岡本小学校教員住宅は令和8年度以降の解体となる。この計画を基本として、財源の捻出が課題であることから、景観、防災、災害等に加え、緊急度、優先度を考慮しながら進めたい。



皮膚病にも効くといわれる「海上の湯」

旧岡本小学校校舎は、現在は体育館をランドゴルフ、2階はカシオペアセンター図書室の開架図書の保管場所と漆産業課の資料保管場所として活用されている。海上の湯は、これまで給湯管やトイレ等、必要に応じて改修を行った。法定耐用年数は50年となるが、個別施設計画では、目標耐用年数は70年と設定しており、当面は定期的な点検に努めたい。

問 食料確保と給食費の現状はどのようなものか。義務教育は無償という憲法に基づいた給食費無償化についての考え方は。

答 教育長 新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻で値上げなどの影響が出ている。国から高騰する食材費の増額分負担の支援として、臨時交付金の活用も示されており、給食費の保護者負担を抑制し、給食の提供に努めている。小中学校の給食無償化は比較的人口規模の小さい自治体での傾向にあり、県内では無償化を実施している市がないことから、無償化は相当難しいので、現時点では設置者と保護者による負担を継続したい。



國分 敏彦 議員

市内に

無料PCR検査会場設置を

二戸管内で十分な検査体制が確保されている

プレミアム付き商品券

問 プレミアム付き商品券は大型店舗でも使用可能か。参加しない店舗をなくすることが大切だと思うが市の対応は。

答 市長 商品券は専用券、共通券の2種類で構成されている。専用券は、市内に本店、本社を置く事業者の営む店舗等で利用可能である。共通券は、全取扱店で利用可能であり、大型店舗、チェーン店等では共通券のみ利用可能となる。小売業のほか飲食業やサービス業、製造業、建設業など、幅広い業種を対象としている。幅広く消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を支援したい。参加しない店舗については、商工会等と協議をしながら進めなければならないと思っている。

二戸市の森林計画

問 計画書は、庁舎内での作成なのか委託したものか。市有林をどのように活用していくのか。苗木の育苗で日本一の方があるのか。苗木はそこから購入し、下刈・間伐は森林組合で行い、伐期がきたら入札するというシステムを構築する必要があると思うが市長の考えは。

答 市長 参考にさせていだきながら、変えるところは変えていかなければならないと思っている。



二戸市プレミアム付き商品券



畠中 泰子 議員

コロナ禍での物価高騰 緊急の対策強化を

国・県の動向を見極めて
必要な対策を検討したい

育て支援は、総合的に勘案し検討していく。



おいしい給食をつくっている
二戸市学校給食センター

問 コロナ禍での物価高騰は地域経済に大きな打撃となっている。資材や肥料、飼料、燃料代の値上げで窮迫の農林畜産業への支援策は。学校や教育・保育施設給食の無償化や支援についての考え方は。資材高騰の中で逡巡する土地区画整理事業の地権者に寄り添った対策等が必要では。

答 市長 今後、価格高騰が農業経営に及ぼす影響や国・県の動向を見極めて必要な対策を検討したい。肥料コストの低減に向け、土壌診断を通じて適正施肥や自然由来肥料の利用拡大、自給飼料の生産拡大の各種支援制度の活用を引き続き支援する。

学校、教育・保育施設での給食原材料等高騰に対する支援は今後の物価高騰の状況や社会情勢の変化を注視していく。子

土地区画整理事業の移転補償の基準は、東北地区用地対策連絡会作成の補償金算定標準書を使用し、毎年度、物価変動等を反映し改定される。公共用地の取得に伴う損失補償基準要領に定められた契約時における基準、単価を用いることに基づき実施している。このうち建物補償費は使用期間である経過年数を考慮した現在価格を基礎とした補償となり、現在と

水田活用交付金

問 市としての課題と取り組みは。

答 市長 東北市長会では、見直しの撤回を要求した。当市の重点振興作物のリンドウ生産者への影響や畜産業の経営圧迫が懸念される。二戸市農業再生協議会の場で協議を行い、県、JA等と情報共有を図り、見直しによる影響を注視しながら対応していく。

議会活動の報告（5月から8月中旬）

5月

- 24日
○閉会中の総務常任委員会
- 26日
○閉会中の議会運営委員会
- 27日
○カシオペア連邦議会議員協議会
役員会
- 30日
○議員全員協議会

6月

- 3日
○議会運営委員会
○市政調査会監査
- 7日～20日
○令和4年6月定例会
- 20日
○議会運営委員会
○市政調査会総会

7月

- 1日
○広聴広報委員会 広報部会
- 13日
○カシオペア連邦議会議員協議会
総会・研修会
- 14日
○議員全員協議会
- 20日
○二戸市・三戸町・田子町議会
議員協議会 監査会・役員会
- 22日
○閉会中の文教福祉常任委員会
- 27日
○広聴広報委員会 広報部会

8月

- 8日
○広聴広報委員会 広報部会
- 17日
○議員全員協議会
- 18日
○議会改革推進委員会

ご意見箱



みなさまの声を聞かせて！

クイズにご応募いただいた
皆さまからのご意見を
ご紹介しながら、
二戸市の今を考えます。



・これからの二戸市について

子供を育てやすいまちづくりをして欲しいです。
屋内で遊べる場所が欲しいです。公園に、幼児向けの遊
具があるといいと思います。（福岡の方）

・葉たばこについて

議会だより 63 号の 21 ページに、葉たばこ廃作後の転
作についての質疑が載っていました。これからの葉たばこ
栽培に関する情報が欲しいです。（浄法寺町の方）

・議会だよりクイズについて

二戸市民でも「相馬大作」を知らない人は多いと思うの
で、クイズにして周知していただけるのはとてもいいと思
いました。（堀野の方）

紙面の中から答えを見つけてね！

議会だよりクイズ

下の○に当てはまる言葉（数字2文字）を入れてください。

2022 年は
田中館愛橘博士没後○○年

（ 前回の答え…「相馬大作」）

□応募方法

クイズの答えと住所、氏名、年齢、**議会へのご意見や議会だよりを読
んだ感想やご意見を必ずご記入**のうえ、ハガキやファックス、電子メー
ルにてご応募ください。

正解者の中から抽選で **5 人** に二戸市共通商品券 **1,000 円分** をお贈りし
ます。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見、感想等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがあ
りますのでご了承ください。（氏名非公開）

□あて先 〒028-6192 二戸市福岡字川又 47
二戸市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-23-1633 / メール：gikai@city.ninohe.iwate.jp

□締切 令和4年9月30日（金）※当日消印有効

長年の功績を称え表彰

5月25日に書面開催されました第98回全国市議会議長会定期総会で、本市議会から8人の議員が表彰を受けました。受賞者には、6月7日の定例会初日に表彰状が伝達されました。

※ 合併前の町村議会議員としての在職年数は、2分の1を市議会議員在職年数に通算しています。



議員在職10年以上
内沢 真申 議員

議員在職10年以上
駒木 昇 議員

議員在職15年以上
三浦 利章 副議長

【特別表彰】
議員在職25年以上
田代 博之 議員

【特別表彰】
議員在職25年以上
國分 敏彦 議員

【特別表彰】
議員在職25年以上
田中 勝二 議員

【特別表彰】
議員在職25年以上
菅原 恒雄 議員

【特別表彰】
議員在職25年以上
畠中 泰子 議員

市議会議員全員協議会を開催（定例・5月）

令和4年5月16日（月）、定例の議員全員協議会が開催されました。
当局から1件の報告事項がありました。

- 【報告事項】 ■ 二戸市文化振興協会職員の不祥事について
- 【協議・報告事項】 ■ 第74回東北市議会議長会定期総会（書面協議）
■ 令和4年度岩手県市議会議長会第1回定期総会（書面協議）
■ 閉会中の議会運営委員会
■ その他

市議会議員全員協議会を開催（定例・7月）

令和4年7月14日（木）、定例の議員全員協議会が開催されました。
当局から2件の説明事項がありました。

- 【説明事項】 ■ 金田一診療所の運営状況について
■ 高校再編計画について
- 【協議・報告事項】 ■ 全国市議会議長会第98回定期総会（委任状出席）
■ 二戸地区広域行政事務組合議会臨時会
■ 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会及び臨時会
■ カシオペア連邦議会議員協議会役員会
■ その他

○定例の議員全員協議会とは、議会自らが定期的開催するもので、原則毎月15日に開催しています。
※定例会開催月（3月、6月、9月、12月）と2月、8月の開催はありません

シリーズ

市民と市政をつなぐ

議会改革



二戸市議会「議会改革」をすすめています。
分かりやすく、市民に開かれた議会の実現を目指します。
今回は「議会改革推進委員会」が活動している進捗状況を報告します。

二戸市議会諸規定の見直しなど

- ・委員会条例見直し（案）
 - ・タブレット端末機貸与運用規定（案）
 - ・二戸市議会災害対応指針（案）
 - ・二戸市議会災害対応連絡会議設置要綱（案）
- 以上について委員会で協議しました。

政策立案等に関する指針

二戸市議会が政策立案や政策提言等に取り組む方向性をまとめました。市民の多様な意見を的確に把握し、市政に反映させるための運営を目標とします。その過程においては市民が参画できる機会の提供に努めます。

その他

- ・中学生議会実施の可能性について検討しております。
模擬議会の体験を通じて、議会や市政に関心を持ってもらい、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付けさせることが目的です。
- ・アンケートの様式について検討しております。
議場の出入口にアンケート用紙を設置し、傍聴者の意見収集に努めます。

前号（二戸市議会だより 63 号）
p 13 の中段『市政を問う！』内の

『5 高村人司議員』の質問項目

に誤りがありました。正しくは、

1. 市内街路灯の修理費について
2. 市内光回線加入について
3. 中央公民館の今後について
4. はありません

でした。お詫びして訂正いたします。

9 月定例会がはじまります！

次回の定例会は、9 月 5 日（火）に開会の予定です。



9 月定例会では、一般質問のほか、決算や補正予算などについて審議が行われます。

「どうなる二戸？ どうする二戸？」

詳しい日程は二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。（電話 0 1 9 5 - 2 3 - 1 6 8 5）

< 編 集 後 記 >

7 月 10 日に投開票の参議院選挙で、二戸市の投票率は前回から 0.06 ポイント増加したものの、県内で下から 2 番目の 48.90% という結果になりました。以前より、投票率向上のために二戸市は対策を講じてはいるものの、一朝一夕に結果の出るものではなく地道に取り組まなければならないと思うのと同時に、我々議員が頑張らねばならない事とも捉えております。市民の皆様にも遠慮なくご意見をいただきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

（沼井 賢壮 記）



* 広聴広報委員会

委員長 石 輪 成 人

* 広報部会

部会長 田 口 一 男

副部会長 小田島 行 伸

委 員 沼 井 賢 壮

戸 来 守 和

内 沢 真 申

令和 3 年度
政務活動費
執行状況

政務活動費は、議員が調査研究や研修、広聴広報、市民相談などの活動を行う際の経費として交付されるもので、当市では議員 1 人当たり月 1 万円、年間 12 万円が交付されました。
令和 3 年度の各議員の執行状況は下記のとおりです。

（単位：円）

議 員 名	実支出額	支 出 の 内 訳						
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務所費
畠中 泰子	208,367	10,020		1,378		105,294	91,675	
田口 一男	80,846						66,072	14,774
岩崎 敬郎	132,693			120,000			12,693	
沼井 賢壮	102,743	600	23,100				58,686	20,357
戸来 守和	21,000		4,000				17,000	
小田島 行伸	124,000		4,000				120,000	
三浦 利章	0							
新畑 鉄男	0							
駒木 昇	97,307	11,180			31,123	37,904	17,100	
高村 人司	68,967					16,355	52,612	
出堀 満則	33,000			33,000				
石輪 成人	19,800						19,800	
米田 誠	121,764						121,764	
菅原 恒雄	132,402						132,402	
田中 勝二	103,250						87,120	16,130
國分 敏彦	34,206					5,060		29,146
内沢 真申	114,000		4,000				110,000	
田代 博之	34,644						34,644	
合 計	1,428,989	21,800	35,100	154,378	31,123	164,613	941,568	80,407

※支出の内訳のうち、「要請・陳情活動費」「会議費」「人件費」は支出実績がなかったため記載していません。

※交付額 12 万円を超える支出額は、自己負担となります。

※実支出額が 12 万円に満たない場合は、残金を市に返還しています。

政務活動費の収支一覧は市議会ホームページにも掲載しています。

収支報告書等の閲覧を希望する場合は所定の手続きが必要となりますので、議会事務局 までお問い合わせください。



「ローマ字の宇宙」 デザイン：福田繁雄

昨年度末に改修を終えました

2022年は田中館愛橘博士没後70年となります



「田中館愛橘博士銅像」二戸市シビックセンター

声のひろば

KOE NO HIROBA

天台寺のあじさい 天台寺ボランティアガイド 関 カヨさん

浄法寺町天台寺の紫陽花は、7月に入ってから咲き出し10日頃には見頃となります。瀬戸内寂聴様が任職として晋山された時「お花のある明るいお寺にしましょう」と、平成元年6月に、京都より紫陽花の株を取り寄せ2千本植樹しました。

その後、24年から3年間、市職員や浄小6年生、ガイドの会会員等で植樹し続け、参道から境内まで真っ白なアナベル、青い大輪、地味な七段花など、今では本数がわからない位、咲き乱れています。暑い日に参道を登り、紫陽花に見とれ、青色に癒されながら進む、そして、境内に立った時「天台寺だあ〜」と爽やかな気分になります。

参拝後には、毘沙門堂方面に足をのびしてください。神水池より左側には誰もいない細い道の両側に咲く紫陽花。仲良しの友達と歩くとサワサワと桂の葉も迎えてくれます。

8月以降も十分楽しめますよ！

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。みなさまと一緒に、このまちの未来を考えていきたいと思います。



～議会の傍聴について～

二戸市議会のホームページ
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/info/2148>
gikai@city.ninohe.iwate.jp

※現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴席での傍聴は、**最大9名まで**としています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

右のQRコードからも
ホームページにアクセス
できます→

